

第 68 回(H25 年度第 4 回)MT 委員会議事録

日時: 2013 年 7 月 26 日 13:30–14:45

場所: RIBF 棟 2F 小会議室

出席: 酒井^a(委員長)、延與^{a,†}、福西^a、羽場^{a,†}、上垣外^a、加瀬^a、久保^a、吉田光^a、阿部^a、森本^a、奥野^a、櫻井^a、下浦^b、上野^a、上坂^a、上蓑^a、本林^{a,†}、矢向^{d,†}、西村^{a,††}、青井^{d,††}、平山^{c,†}、米田^a

欠席: 宮武^{c,†}、若杉^a、山口^b、森田^a、吉田敦^{a,†}

^aRNC / ^bCNS / ^cKEK / ^dRIBF-UEC / [†]Observer / ^{††}TV Attendee

(順不同・敬称略。以下同様)

【報告】

1. RIBF MT 実施状況 (米田)

RIBF での MT の実施状況について報告があった。共用促進の判断で、NP0702-RIBF09-02 (Lewitowicz, ¹²⁴Xe @ 345 MeV/u, EURICA) を 1 日延長し、NP1206-RIBF97-01 (Lorusso, ¹²⁴Xe @ 345 MeV/u, EURICA) を 1 日短縮したことが報告された。スケジュールの変更は以下のとおり。

NP0702-RIBF09-02(Lewitowicz)	end time	June 27 9:00 → June 28 9:00
NP0702-RIBF97-01(Lorusso)	start time	June 27 9:00 → June 28 9:00

2. MT スケジュールの変更 (米田)

NP1012-AVF10-02 (Cherubini, ¹⁵N, CRIB) を 3 時間延長して 7 月 7 日 24 時までとしたことが報告された。

3. RIBF 加速器運転報告 –¹²⁴Xe ビーム供給報告 (福西)

345 MeV/u の ¹²⁴Xe ビーム供給状況について報告があった。途中ビーム強度をあげるため 2 日間調整期間をとり、強度は平均約 32pnA であったこと、¹²⁴Xe ビームの供給率は 91% であったことが報告された。また、上期の RIBF 新施設へのビーム供給率は合計で 90.8% であったこともあわせて報告された。

4. PAC 進捗状況(米田)

PAC の進捗について以下の報告があった。

・ 12th NP-PAC (6/28-29 開催):

RIBF 新施設分では 11 件(BigRIPS/ZDS 7 件、SAMURAI 4 件)が grade A として採択された。合計 42.5 日。

・ 10th ML-PAC (7/2-3 開催):

RIBF の課題申請は 7 件で合計 75.5 日。SRC, BigRIPS を使用する課題が 1 件(²³⁸U, 3 時間)あった。RILAC 単独実験で grade S の課題が 1 件あった。

・ 4th In-PAC: 特になし。

5. FY2013 下期 MT 計画案策定スケジュール(米田)

2013 年度下期の MT 計画を決定するスケジュールについて報告があった。9/13 の次回 MT 委員会で

MT 計画を承認する必要があり、計画案の作成や安全審査などを密なスケジュールでこなす必要があることが報告された。また、2014 年 3 月後半以降の MT については 2014 年 1 月ごろに募集して決める方針であることがアナウンスされた。

【議題】

1. 前回議事録承認(酒井)

2. 下期、および来年度以降の加速器運転計画に関する提案(延與、上垣外)

延與仁科センター長から仁科センターの予算の現状と今後の見通しについて報告があった。理研の HQ からの運営費交付金の減額、光熱費の上昇が年初の想定をはるかに上回ったため、運転計画を見直さざるを得ない状況にあること、来年度の予算の状況については概算要求の結果がはっきりするころにわかることが説明された。

上垣外加速器基盤研究部長より、加速器運転計画について提案があった。今年度下期に関しては、RRC メインコイルの修理やリニアック RF 系更新などの老朽化対策、戻しビームラインやガスストリッパーなどの基幹装置整備など 9 件の作業が予定されており、これらの作業を優先して RIBF 新施設の実験を 3 月まで割り当てないこと、RIBF 施設全体の更なる効率的運転のため、従来の 2-3 ヶ月の運転を繰り返すスタイルから、現状では 5 ヶ月の連続運転を行うスタイルに改めることが提案された。

RIBF 新施設の実験を 1 月から夏前までに集中して行う方針を採用することが承認された。

3. FY2013 年間 MT 計画概要(酒井)

共用促進チームより、検討中の今年度年間の MT 計画概要案の最新版が提示され、検討が行われた。10 月から 3 月上旬までは SRC の MT を配分せず、その間旧施設の MT をできるだけ多く配分する方針が示され、承認された。3 月中旬以降の MT 計画については 1 月に来年度上期 MT 計画を策定する際に明確にすることもあわせて報告された。

今年度下期の MT 配分について、大きく影響する工事として、12 月中旬からの RRC の電源工事、仁科記念棟の屋上防水工事、RILAC の RF 系の更新があること、近日中に工期等を確定し MT 計画策定に支障が及ばないようにすることが確認された。

4. 4 - 7 月に実施された BigRIPS 関連実験の消化日数算定(酒井)

4 月から 7 月に実施した BigRIPS 関連実験の実施日数の詳細が報告された(米田)。各実験課題の消化日数を下記の通りとすることが提案され、承認された。

NP0709-RIBF40-01(Terashima)	4.5 days
NP1112-SAMURAI8R1-01(Otsu)	3.0 days
NP1206-RIBF87-01(Lee)	1.25 days
NP1112-RIBF87-01(Odahara/Lozeva/Moon)	5.0 days
NP0702-RIBF26R1-01(Sumikama)	8.5 days
NP1112-RIBF86-01(Ideguchi)	5.5 days
NP1012-RIBF49R1-01(de Angelis)	4.5 days

NP1112-RIBF80-01(Benzoni)	4.5 days
NP0709-RIBF42-01(Lynch)	6.0 days
NP0702-RIBF09-02(Lewitowicz)	10.0 days
NP1206-RIBF97-01(Lorusso)	3.0 days
FY2013 1st half total	55.75 days

5. 次回以降 MT 委員会の日程

- 次回 MT 委員会は 9/13 (第 2 金曜) 13:30 - で調整。
- 次々回 MT 委員会は 10/25 (第 4 金曜) 13:30 - で調整

(以上)